



みんなの安全を見守る

交通指導員

街頭に立ち、交通事故がないか、登下校中の子どもたちに危険がないか、日々目を光らせている交通指導員の皆さん。地域の安全のために活動している交通指導員について紹介します。

交通指導員とは

交通指導員は、交通事故の防止や交通安全意識の普及・高揚などのために活動する人たちで、市長が委嘱しています。

現在のメンバー

現在は、久慈市が事故のないまちになることを強く願う市内在住の19人で活動しています。自営業や定年退職をした人、主婦などさまざまな経歴をもった人たちが集まっています。

主な活動の内容

通学路の安全確認や安全啓発パトロールを週1回行っているほか、保育園や小学校での交通安全教室、各

種イベントでの歩行者安全確保などを行っています。

平成28年度には、パトロールや交通安全教室を合計すると177回、延べ1397人が出動しています。

誰でも入隊可能

普通自動車免許を保有している市内在住の人であれば、誰でもなることができます。市民のみなさんがより安全に暮らせるように、市内外の研修に参加し、交通安全の知識や普及方法について学んでいます。



無事故のまちにするために

入隊のきっかけ

まだ二十代半ばの頃、地元の大川目の駐在さんに勧められて入隊しました。その時は若い人はいなく、ほとんどが60歳以上の人たち。朝方、通学路に立つて交通安全を呼びかけることから始めました。

活動の内容は？

毎週月曜日の朝に通学路に立ち、子どもたちの安全確保を図っています。そのほか各種イベントでの歩行者の安全確保、市内の保育園・認定こども園や小中学校での交通安全教室が主な活動です。年間平均すると1人60日くらいの出勤になります。多い人は100日を超えるくらいになりますが、本人の負担にならないように調整しています。

活動の思い出

ある日、指導隊の勤務時間外に、自転車歩道いっばいに広がって走っていた子どもたちがいたので「危ないから一列にならなさい」と注意をしました。すると子どもたちはしかめっ面をしていたのですが、その中の一人が私が指導隊だと気づくと、みんな急に一列になって走るようになりました。その時だけでもありませんが、覚えてもらっているんだな、教えたことが成果になっているんだなと思いました。

指導隊の魅力

子どもたちにあいさつしていると、顔を覚えてもらえる。大きくなってからも覚えてくれる人が多いです。交通安全教

悩みや課題

交通指導員になる人が少ないのが現状です。何をしているのか分からない、興味を持っていないのが原因だと思っています。また昔と違って自営業が少なく、親御さんも時間が無い。一番良いのは学校に通っている子どもたちの親に隊員になってもらうことです。正直60歳を超えてから指導員になるのは体力的に厳しいところもあり、長期間続けることも難しい。若い人たちにぜひ入隊していただきたいです。

今後の抱負

目標は事故を無くすこと。それに向けて少しでも事故を減らしていきたいです。自分たちも含めて、事故にあわない、起こさないように、指導隊みんなが協力して頑張ります！



久慈市交通指導隊 隊長
くまがよいしゆき
熊谷 好行さん

Profile

昭和56年に久慈市交通指導隊に入隊。平成12年から隊長を務め、交通安全意識の普及・啓発、隊員の指導を行っている。



※募集人数を満たしていない場合には、左に記載した期限以降も随時募集を行っています。詳しくは生活環境課に問い合わせください

交通指導隊には自営業や定年退職した人など、さまざまな人が集まっています。平日に参加できなくても、それ以外の日に活動していただくことも可能です。興味のある方は、ぜひご応募ください。

交通指導員を募集しています

市では、交通指導員として、市の交通安全のために力になっていただける人を募集しています。

交通指導員として入隊するにあたり、専門的な知識は不要です。

(入隊後、市役所や盛岡市などで研修会があります)

生活環境課 ☎ 54-8003

■募集人数…10人(男女不問)

■募集資格…次のすべてに該当

- ①普通自動車運転免許証を保有
- ②人格円満で健康
- ③ボランティア精神のある人

■勤務条件…費用弁償等をお支払いします。制服は貸与します。

■応募方法…生活環境課へ履歴書を提出してください。後日、面接の日程を連絡します。

■申込期限…第1回 4月13日(金)まで
第2回 5月24日(木)まで